



市原ゴルフ場で

スタジイの大木移植

200~300mの低い山々が連なる房総丘陵のつけ根あたり、都心からちょうど50km圏の千葉県市原市・太平洋クラブ市原ゴルフ場造成地で、昨年の春、スタジイの大木の移植が行われた。付近は笠森鶴舞県立自然公園に指定されており、国の重要文化財指定、巨岩の上に61本の柱で支えられた四方懸崖寄棟造の笠森観音堂で有名な、坂東礼所巡り31番目の霊場・天台宗笠森寺も車で5分ほどのどかな農山村である。

スタジイの形状は高さ16m、枝張15m、幹周3.5m、と立派なものだ。樹齢約400年といわれる。近在の水田の水神木として信仰を集めていたもので「伐り倒してしまうのは忍びない。クラブハウス前に移しかえられないものか」と、急拠、移植が行われることになった。移植は宇津木農場（代表・宇津木進氏）が請負った。作業は昨年の5月10日から22日の間の12日間で行われた。ソリで約800m移動、定植というので、14日に現地を

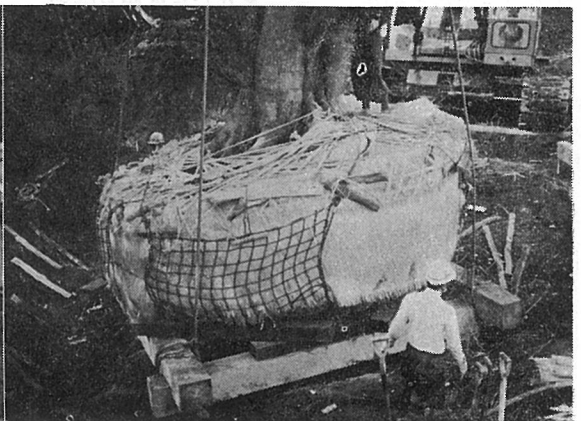
訪れた。

防風林となる樹林を残して樹は伐採され、砂埃の舞う造成地の中に、すでに根巻きを終えた大樹が凜としてあった。根鉢の直径4m、厚さ1.8m、重さ約40t。葉をほとんど取り、多少枝を落とし、蒸散防止剤は散布したが、事が急であったため、根廻しは行っていない。だが、とにかく、枯らさないという条件なので、事前に経験を積んだ職人さんや学者の意見を聞き、次の5点を念頭に作業に当たったという。①最適時期に行く。②掘り上げてから移動の時間は最短にする。③葉を完全に取り除く。④蒸散防止剤を使用する。⑤移動はソリに乗せてブルドーザーで引く。

5月10日から作業にかかった。ゴンドラ2台を動員、葉を取り除くのに2日半。バックホー2台で根のまわりの土を取り除き、根巻きをするのに1日半。14日はソリづくり。残念ながらこの日は、シイノキをクレーンでつり上げソリに乗せ、



スタジイの掘り取り



クレーン車で吊り上げる

立ち姿で移動する現場には立ち会えなかった。移動は15日に延びた。午後5時ごろから127トンクレーンでつり上げを開始、ソリに乗せる。1インチのワイヤーを樹の幹、枝からは3本、台木の四隅からは1本ずつ、クレーンにつなぎ、つり上げた。ソリは、1インチ10mのワイヤー2本でブルドーザーへつなぎ牽引した。5時50分頃移動開始約30分後には約800m離れた移植予定地に到着。もちろん、植穴までは、あらかじめ道を整地し、スムーズに牽引できるよう段取りをしている。1時間ほどで仮植えを終えた。

定植は17日。あわせて支柱を施し、蒸散防止・病虫害防除の薬剤散布も行った。また、一帯が青岩と呼ばれる水はけの悪い土壌であるため、暗渠排水を行っている。植穴の大きさは直径8m、深さ3m。中央部に50m³の黒土を1.6mの高さにこんもりと盛り、その上に、台ごとシノキをおろし、ここで台木を分解し、樹の向きを定め、表土で埋めもどした。幹巻きには、5日を要し、移植の全作業を終えた。

〈スタジオの移植メモ〉

5月10日(火)、葉を取る、ゴンドラ2台、6人
5月11日(水)、葉を取る、ゴンドラ2台、6人



定植されたスタジオの巨木

5月12日(木)、午前中葉を取除く、午後根巻き掘り取り6人。15日に移動する予定であったが、急に14日中に移動することになった。

5月13日(金)、同8人

5月14日(土)、午後移動できるように作業は進行したが、自重のまちがいから50トンで吊上げたが不可能であった。

5月15日(日)、127トンクレーンで午後5時頃に吊上げ、移動は約1時間20分、7時頃には仮定植完了。5月16日(月) 休み

5月17日(火)、定植、5人

5月18日(水)、幹巻き5人、19日(木)同5人
20日(金)同5人、21日(土)同5人、22日(月)同5人

なお移動には直接の工夫が72人、間接工夫はソリの作業等が8人、運搬、その他で20人。約人員が100人、費用が350～400万円。

経費の内容、50トンクレーン	65万円
127	140万円
人件費 100人	100万円
その他ソリ、ワイヤー作業	70万円
その他運搬、ワラ代	10万円
時間外クレーン代	40万円

合計 425万円

なお、ブルドーザー2台、バックホー2台、黒土の50m³を除外したため、実際の経費は450万円くらいと思われる。

〈メモ〉 移植は以上の手順で始めたが、途中で大きなまちがいがあった。それは根回ししていないため、最初は根の直径3.6mくらいでよいと思っていたが、念には念を入れて、直径を4mくらい大きくした。当初25～30トンの自重と思い50トンのクローラクレーンを準備したが吊上げは不可能。127トンで吊上げソリにのせ、ブルドーザーで800m、20分くらいで移動した。途中でソリから白い煙が出て心配したが、移動は簡単であった。移植終了は午後7時20分頃。

この移植作業を反省してみると、まず樹木の自重を軽く見過ぎたこと、定植後に幹巻きにあんがい時間がかかったことである。(宇津木 進)

(口絵写真を参照)

市原ゴルフ場でスダジイの大木移植

千葉県市原市のゴルフ場造成地で昨春、スダジイの大木移植が行われた。この樹、近在の水神木として信仰を集めていたもので、地元ではぜひ残してほしいと要望していたもの。樹齢は約400年、樹高16m、枝張り15m、なかなかの巨木、そのうえ美形である。移植は昨年5月10日から22日、事前に根廻しをしないため、鉢はやや大きめ（自重40トン）、127トンのクローラークレーンで吊り上げ、ソリをブルで引くというもの。移動は約800m、クラブハウス前に定植された。工事は宇津木農場、費用約450万円。今は若葉を繁らせ樹勢盛んだ（本文48頁）

